

## 昭和47年度農村保健事業について

富山県厚生部

岸 岡 保

富山県政三大柱の一つである「住みよい富山県をつくる」ための昭和47年度事業のうち、厚生部関係の農村保健対策関係事業の主なものを紹介する。

### 1. 農村保健状況実態調査

昭和44年度を初年度として1地区、45年度、46年度はそれぞれ6地区計13地区で実施したが、47年度は更に6地区で実施する。

主な内容としては、健康診断、検査（血液、尿等）、栄養調査を中核として実施し、実態を把握し、適切な対策の樹立に資しようとするものである。

### 2. 食生活改善体力づくり推進事業

#### (1) 体力づくり推進キャラバン事業

昭和46年度より実施している事業で、バランスのとれた栄養摂取と農民体操により農夫症、成人病等を予防するのみでなく、積極的に健康を増進するとともに体力を高めることを目的として、事業内容としては健康診断、食べ物と健康の講演、健康相談、体力づくり実技講習を実施する。

#### (2) 特殊栄養指導の強化事業

妊産婦の栄養指導、乳幼児の栄養指導、成人病予防及び治療の栄養指導に特に重点をおいて実施する。

#### (3) 栄養指導車巡回指導事業

1日2会場、年200日、400会場で栄養のバランスのとれた食生活改善のための調理実習による指導を行なう。

### 3. 食品衛生対策事業

#### (1) 食品衛生監視事業

食品衛生法が改正される予定になっており、食品業態に対する監視、指導の強化のため、食品監視員の増員と事業の能率を高めるため、現有の食品監視機動車1台に加えて1台購入して

2台を十分に活動させる。

#### (2) 不良食品撲滅対策事業

有毒、不良食品をなくして、県民に安全な食品が提供されるよう食品の理化学的試験、検査体制を強化する。

### 4. 移動保健所事業

保健所より遠隔な地区住民の健康保持、増進を図ることを目的として、健康診断、保健指導、栄養指導、試験、検査等を実施する。

### 5. へき地医療対策

無医地区、無歯科医地区における巡回診療を県立中央病院、地元医師会、地元歯科医師会の協力により実施している。

へき地医療地域連けい事業として、46年度は上市町が主体となり地元医師会、保健所の協力により上市町白萩地区を中心として実施したが、47年度は更に1カ所増やして実施する。

へき地診療所運営費の赤字について補助している。

自治医科大学には47年4月より富山県に2名入学させ、将来へき地診療所に勤務してもらうよう計画している。

### 6. 水道普及事業

水は人間が生活してゆく基礎的必須要素であり文化の進展により生活水の需用量が増化する。更に工業用水の需用量の増加、農業用水の確保がある。

生活水の確保のため早急に計画を樹立し、実施にうつさなければならない。

人口5,000人以下を対象とする簡易水道の建設及び人口5,001人以上を対象とする上水道の建設指導を推進するとともに、広域水道により生活水の恒久的確保につとめるため県下全域を6ブロックで基本計画作成のための調査が市町村の協議会で実施されている。

## 7. 薬用植物栽培普及指導事業

県立薬草園で現在富山県の気候、風土に適し、

栽培しても充分採算のとれる薬用植物の良質化を  
研究し、種苗の提供と技術指導を実施している。